

IBM ページ印刷装置

G588-6018-00
(英文原典 : G544-3915-00)

**IBM 電子写真方式印刷装置用
カットシート用紙解説書**



IBM ページ印刷装置

G588-6018-00
(英文原典 : G544-3915-00)

**IBM 電子写真方式印刷装置用
カットシート用紙解説書**

お願い

本書の情報および本書によりサポートされる製品をご使用になる前に、ixページの『特記事項』を必ずお読みください。

第1版(1995年7月)

原典： G544-3915-00
IBM Advanced Function Printer
Cut-Sheet
Paper Reference
for use with
IBM Electrophotographic Printers
発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社
担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1995.7

©Copyright International Business Machines Corporation 1993. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1995

目次

特記事項	ix
商標	ix
まえがき	xi
用語	xi
関連資料	xi
第1章 ゼログラフィー用紙	1-1
用紙特性	1-1
用紙重量	1-2
用紙サイズ	1-2
温度と湿度	1-2
湿気と用紙カール	1-2
融着	1-3
用紙の端の品質	1-3
繊維含有量	1-3
紙目方向	1-4
電気伝導率	1-5
サイジング	1-5
平滑度 (Sheffield)	1-6
用紙の等級と輝度	1-6
用紙のよごれ	1-6
酸性とアルカリ性	1-7
剛性 (テーバ)	1-7
磨耗性	1-7
用紙切断部	1-7
厚さ (カリパス)	1-7
引張り強さと引裂き強さ	1-8
透気度 (ガーレー)	1-8
耐熱性	1-8
摩擦	1-8
不透明度	1-8
再生紙	1-8
用紙メーカーの包装	1-9
非ゼログラフィー用紙	1-9
紙のタイプと等級	1-9
オフセット紙	1-9
多目的紙	1-10
ボンド紙	1-10
第2章 特殊用紙の特性	2-1
事前印刷電子用紙	2-1
事前印刷用紙	2-1
事前印刷画像の考慮事項とガイドライン	2-2
印刷用インク	2-4

インクの成分	2-5
浮き出し/彫り込みイメージ	2-5
電子用紙	2-5
流通書類	2-6
機密保護用紙の考慮事項とガイドライン	2-6
磁気インク文字認識	2-7
光学式文字認識用紙	2-7
ミシン目入り用紙	2-8
紙目方向と重量の考慮事項	2-8
ページ・レイアウト	2-10
事前穿孔用紙	2-11
端の補強	2-11
接着ラベル	2-11
重量用紙	2-11
紙目方向	2-11
紙目と垂直方向のカール	2-11
端の付着	2-12
インデックス用紙	2-12
その他の用紙	2-12
カラー用紙	2-12
パーチメント紙	2-12
ベールム紙	2-13
引裂き耐性のある用紙	2-13
透明フィルム	2-13
おすすめでできない用紙	2-13
封筒	2-14
複写器用紙	2-14
謄写版用紙	2-14
カーボンレス紙	2-14
アート	2-14
高伝導性用紙	2-14
タルク入り用紙	2-15
ワックス、ステアリン酸塩、あるいは可塑剤入り用紙	2-15
第3章 接着ラベル	3-1
一般的な考慮事項	3-1
用途	3-1
バー・コードの用途	3-2
ラベル構造	3-3
素材	3-4
トナー接着	3-5
カール	3-6
基本重量	3-6
ラベル・サイズと切断構成	3-7
ラベルの事前印刷	3-7
接着タイプ	3-9
キャリアー・シート	3-10
ラベルのテスト	3-11
ラベルの選択	3-13

第4章 用紙問題の障害追求	4-1
問題解決	4-1
処理区域で繰返し起きるジャム	4-2
同時に複数枚の用紙送りあるいは斜め送り	4-2
頻繁な用紙送り不良	4-3
出力部での頻繁なジャム	4-3
出力部でのシートの付着	4-4
印刷結果にあらわれるすじ	4-4
用紙のリーディング・エッジの裂けやかたまり	4-4
フォトコンダクターの斑点	4-5
フューザー・ユニット部の結露	4-5
高頻度の印刷装置メンテナンス	4-5
後処理問題の解決	4-6
波状の端	4-6
静電気の問題	4-7
紙目方向と取扱いの問題	4-7
第5章 用紙とサプライ製品の選択、事前テスト、注文、保管、および使用	5-1
用紙の選択	5-1
用紙拒絶基準	5-3
用紙の事前テスト	5-3
テストが必要な適用業務	5-4
テスト結果	5-4
テストの種類	5-5
単一ボックス・テスト	5-5
複数ロット・テスト	5-6
サンプル生産	5-6
後処理	5-6
テスト結果の評価	5-7
用紙製品の注文	5-8
サプライ製品の保管	5-9
用紙の保管	5-9
ラベルの保管	5-9
保管場所からの用紙の使用	5-10
用紙の調整	5-10
ラベルの調整	5-10
用紙のセット前の準備	5-10
用紙連の開封	5-11
用紙のさばき	5-12
カール方向の判別	5-14
付録A. 用紙の基本重量と平方メートルあたりのグラム数	A-1
付録B. 文書基準	B-1
パルプ・紙産業技術協会(TAPPI)基準	B-1
米国国家規格協会(ANSI)基準	B-1
国際標準化機構(ISO)基準	B-2
米国材料試験協会(ASTM)基準	B-2

付録C. ISO基準の用紙サイズ	C-1
ISO-A 標準用紙サイズ	C-1
ISO-B 標準用紙サイズ	C-2
用語集	G-1
索引	X-1



1-1.	紙目と紙の裂け目	1-4
1-2.	紙目と紙の裂け目	1-5
2-1.	未印刷用紙の特性	2-6
2-2.	印刷品質	2-7
2-3.	ミシン目入り用紙における紙目の考慮事項	2-9
2-4.	支払い文書用のサンプル・ページ・レイアウト	2-10
2-5.	インデックス用紙パラメーターのテスト基準	2-12
3-1.	バー・コードの方向付けのサンプル	3-3
3-2.	ラベルのタイプ	3-4
3-3.	ラベルのグリッパー・エッジ	3-7
3-4.	ラベル用接着剤のタイプ	3-10
3-5.	ラベル・パラメーターのテスト基準	3-13
4-1.	処理区域で繰返し起きるジャム	4-2
4-2.	複数用紙送りあるいは斜め送り	4-2
4-3.	頻繁な用紙送り不良	4-3
4-4.	出力部の頻繁なジャム	4-3
4-5.	出力部でのシートの付着	4-4
4-6.	印刷結果にあらわれるすじ	4-4
4-7.	用紙のリーディング・エッジの裂けや結合	4-4
4-8.	フォトコンダクターの斑点の原因と是正策	4-5
5-1.	用紙選択基準、代表的な仕様	5-1
5-2.	用紙の調整	5-10
A-1.	基本重量(1連あたりのポンド数)から平方メートルあたりのグラム数への変換	A-1
C-1.	ISO-A 標準用紙サイズ図	C-1
C-2.	ISO-A 標準用紙サイズ	C-1
C-3.	ISO-B 標準用紙サイズ図	C-2
C-4.	ISO-B 標準用紙サイズ	C-2

特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する動作の評価および検査はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106 東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

商標

本書でアスタリスク(*)を付けて表記されている以下の用語は米国およびその他の国においてIBM社の商標です。

Advanced Function Printing
AFP
IBM
IPDS
Pennant Systems

本書で二重アスタリスク(**)を付けて表記されている以下の用語は他社の商標です。

Lexmark International, Inc.

まえがき

本書はIBM電子写真方式の印刷装置で使用されるカットシート用一般用紙と特殊用紙に関する全般的な手引きです。

本書の対象読者はIBMカットシートを使用する印刷装置の**操作員**、**計画担当者**、または一般用紙や特別な適用業務用紙を発注する**購買担当者**などです。また本書は、IBM印刷装置用に光学文字認識(OCR)、バー・コード、ならびに事前穿孔用紙などの特別な適用業務の計画と用紙設計にたずさわる人にも役に立ちます。計画担当者と購買担当者は本書を用紙メーカーや販売会社に提供すれば、どのような用紙が計画している適用業務で最良の結果を得られるのか判断する際の手立てとなります。

正しい用紙を選択することと同様に、用紙を正しく保管し、取扱うことも、問題なく印刷装置を運用するうえで重要です。用紙は多種多様なものが使用可能です。またある用紙は他の用紙より良く印刷できます。ここで重要なのは用紙および特別な適用業務の用紙の特性を理解することです。

本書の情報はユーザーの印刷装置出力の品質を向上させ、印刷装置に必要な保守を最小限にするよう支援することを目的にしています。

用語

本書で使用されている用語の定義については、G-1ページの用語集を参照してください。

関連資料

それぞれのIBM印刷装置をサポートする一連の資料には次のマニュアルがあります。

入門と計画の手引き
操作員の手引き
製品解説書
用紙解説書

ユーザーの印刷装置に関する特定の情報については、それぞれの印刷装置に対応した資料を参照してください。

さらに、以下の資料には印刷環境に関する有益な情報が記載されています。

About Type: IBM's Guide for Type Users, G544-3122

About Type: IBM's Technical Reference for Digitized Type, S544-3516

A Guide to IBM's Advanced Function Printing, G544-3095

IBM Advanced Function Printing: Software General Information, G544-3415

Advanced Function Printing: Printer Information, G544-3290

Document Composition Facility: Bar Code User's Guide, S544-3115

Bar Code Fonts User's Guide, S544-3190

